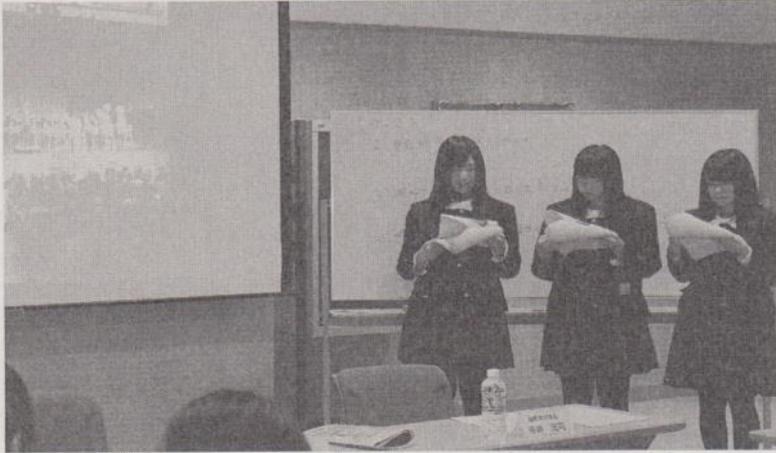


アメリカ滞在の様子を報告した訪問団参加者



【七飯】町の姉妹都市アメリカ・マサチューセッツ州コンコード町を訪問した姉妹都市交流訪問団の海外交流派遣研修事後報告会が10日、町文化センターで開かれた。七飯高校吹奏楽局とカーライル高校とのジョイントコンサートをはじめ、現地の文化や滞在の様子を写真で紹介。アメリカの空気を肌で感じてきた生徒らは「これからもコンコードとの関係が深まってほしい」「またアメリカに行きたい」などと語った。(今井正一)

コンコード訪問団の生徒ら帰町報告会

姉妹都市交流 友好ささらに

演奏会で盛大な拍手「涙出た」

訪問団は9月23日に出発。壁はあっても音楽に壁はなかった。人生初のスタンディングオベーションに涙を流したと振り返った。

中学生らは、日本との食文化、習慣の違いや、積極性が身についたことなど、訪問で得た経験を報告。大中山中学校の松浦水乃緒さんはホストファミリーにうまく感謝を伝えることができなかったと、「将来、伝えきれなかった思いを伝えるに行きたい」と話していた。

初姉妹校訪問を実現した同高校の小越康雄校長は「個人的にも夢のような時間を過ごした。七飯をアピールし、姉妹都市交流の目的は果たせた。生徒たちにはこれから大きな財産となったと思う」と話した。また、団長を務めた宮田東総務課長は「73人の大訪問団が無事に帰ってくることで、安心して生徒たちは物おしもせず活動し、相当成長した。これまでコンコードとの積み重ねが今回の成果」と話し、来年のコンコードからの訪

問団受け入れに協力を求めた。